

No	12	分類	3-(2)-イ	資料名	半分のおにぎり	学年	3・4年	領域	道徳	2-(3)
----	----	----	---------	-----	---------	----	------	----	----	-------

1 ねらい

- 困難な状況の中でも、助け合い支え合うことの大切さに気づき、自ら進んで行動しようとする。

2 趣旨

- 阪神・淡路大震災の体験を通して、人と人とのふれあいや助け合うことの大切さを再認識し、自分と他者とを豊かにつなぐ思いやりの心を育てることが大切である。
- 阪神・淡路大震災によって多くのものを失った「わたし」が、避難所生活で、これまで意識しなかった家族や友だちのありがたさや協力し励まし合って生きることの大切さに気づいていく内容である。
- 「たくさんのたからもの」とは何かを考えることで、互いに思いやり、助け合うことの大切さに気づくとともに、困難な課題を克服しようとする態度を育てる。

3 配慮事項

- 地震や水害等による心のケアが必要な児童がいる場合には、十分に配慮する。
- 防災教育副読本『明日に生きる』を用いて、震災の被害の状況等について理解を深めておきたい。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 阪神・淡路大震災の被災地の様子を知る。	・防災教育副読本『明日に生きる』等を活用し、震災当時における被災地の様子を知らせる。
2 おにぎりを半分もらった時の「わたし」の気持ちを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">おにぎりを食べた「わたし」は、どんな気持ちだったのでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでで一番おいしかった。 ・お腹がすいていたのでうれしかった。 	・人の善意や真心をうれしく思い、一番おいしいと感じているわたしの気持ちに気づかせる。
3 おにぎりを半分、分けてくれた男の子の気持ちを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">男の子は、なぜおにぎりを分けてくれたのでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなお腹がすいているから。 ・困っている人がいたので分けた。 ・助け合うことが大切だと感じたから。 	・男の子も空腹であったにもかかわらずおにぎりを分けてくれたことから、助け合うことの大切さに気づかせる。
4 「わたし」が気づいた宝物について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">「わたし」が見つけた「たくさんのたからもの」とは、何だったのでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・助け合い ・やさしさ ・進んで行動すること ・思いやり ・家族 	・ともに助け合い、協力することの大切さに気づかせるだけでなく、主体的に取り組もうとしている子どもの姿に共感させる。
5 4で考えた宝物で、自分が大切にしていきたいもの考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">あなたは、どんなことを大切にしていきたいと思いますか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・互いに助け合うこと。 ・自分も友だちも大切にすること。 	・助け合いや思いやりの心を大切にするなど、自らも進んで行動しようとする意欲や態度につなげる。